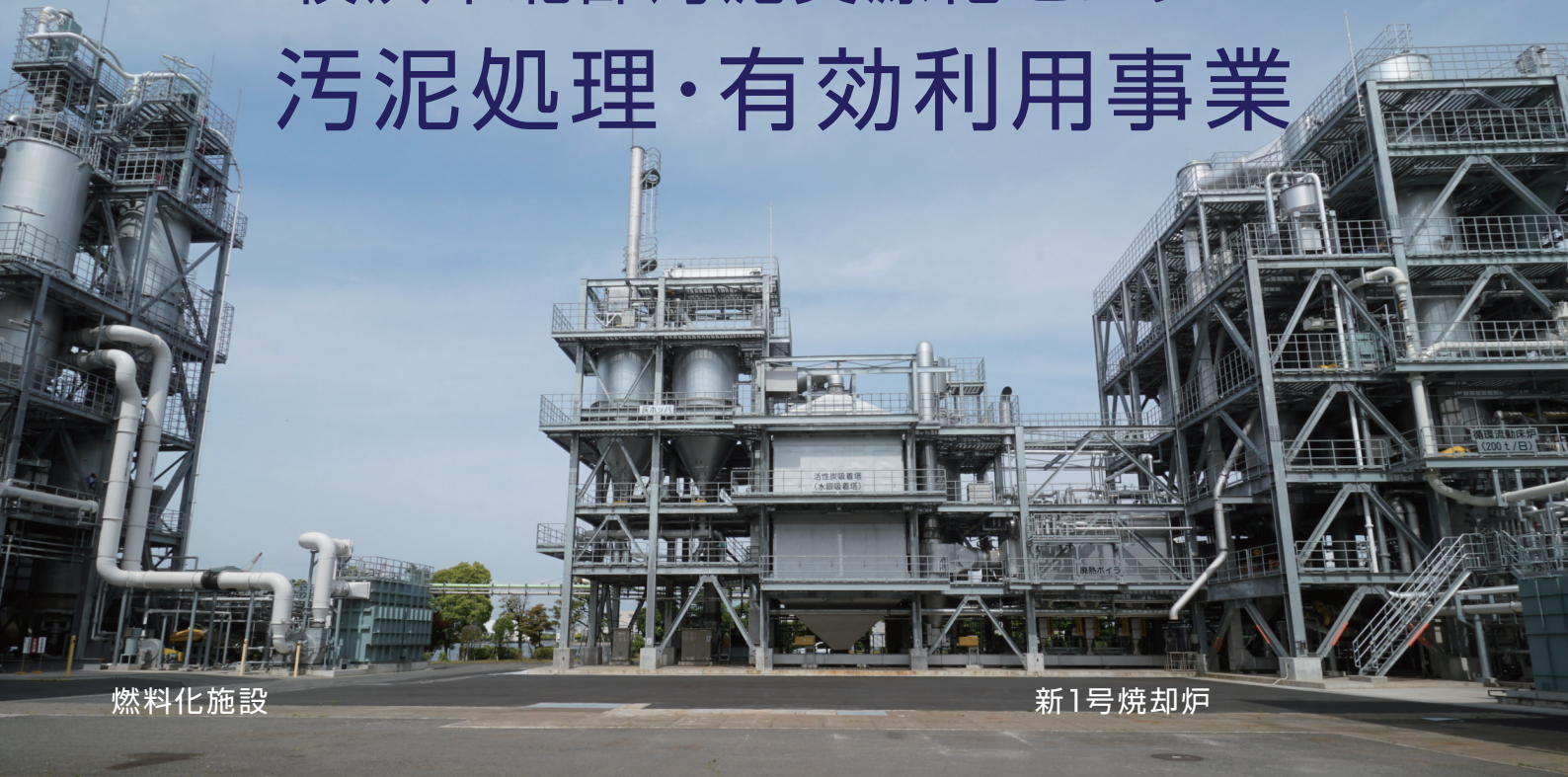


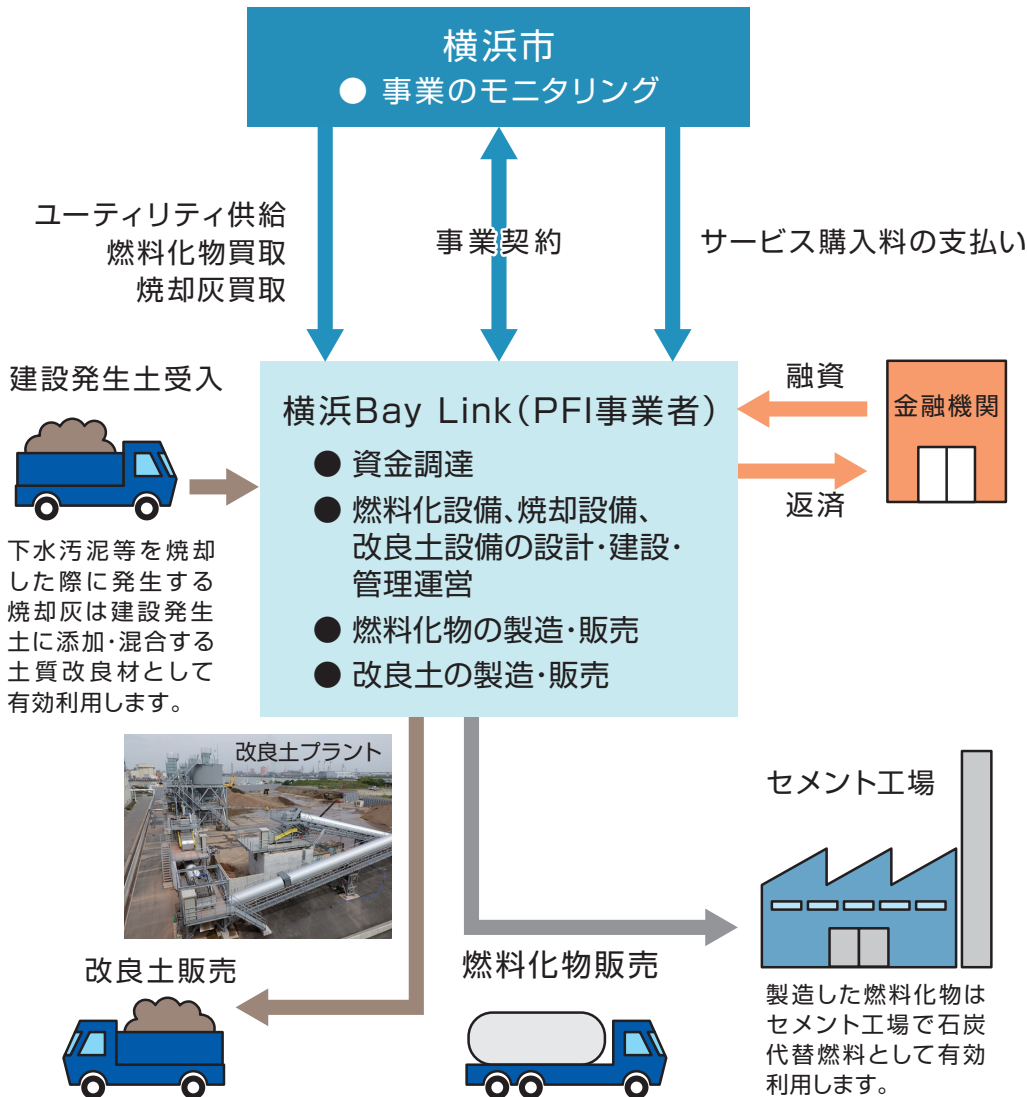
横浜市北部汚泥資源化センター 汚泥処理・有効利用事業



燃料化施設

新1号焼却炉

事業実施体制



事業効果

コスト削減

民間の資金や創意工夫を活用するPFI事業として実施することで、コストを削減しています。

温室効果ガス削減

約8,200t-CO₂/年の温室効果ガス削減が可能です。

事業運営の安定

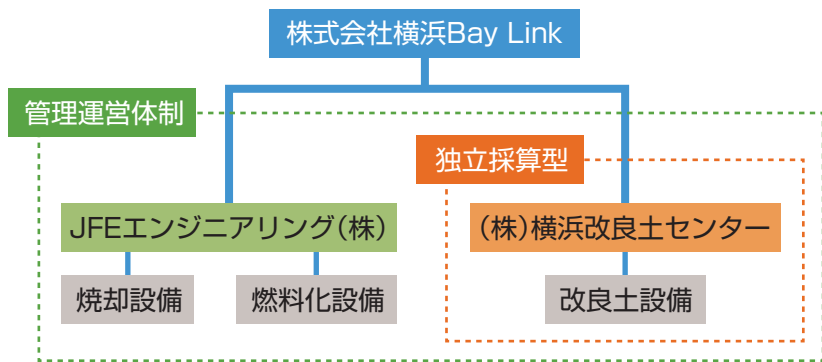
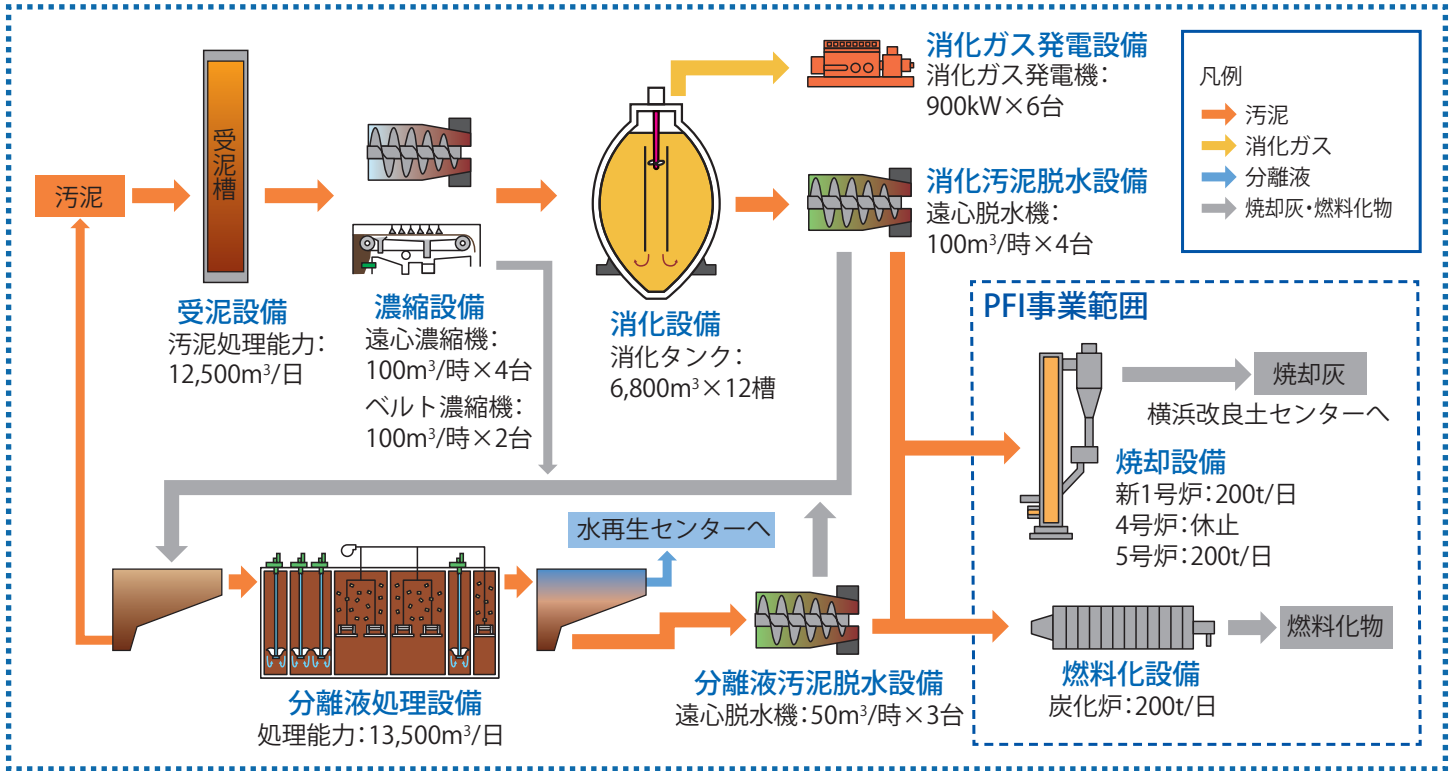
事業者の持つ経験やノウハウを活用することで、設計・建設から管理運営までの22年間にわたり、安定した事業運営ができます。

事業期間
2016年8月31日～2039年3月31日

北部汚泥資源化センターのご紹介

- ・横浜市の5カ所の水再生センターで発生する下水汚泥は、北部汚泥資源化センターで集約処理されます。
- ・下水汚泥は、発電、燃料化、改良土として有効に活用されます。

処理フロー



株式会社横浜Bay Link 会社概要

- ・設立 2016年4月18日
- ・資本金 1億円
- ・出資者及び出資比率

JFEエンジニアリング	奥多摩工業	デイ・シー	東芝インフラシステムズ	奥多摩建設工業
51%	29%	8%	7%	5%

管理運営方針

汚泥処理の豊富な経験、ノウハウを最大限に活用し、安全・安心・安定的な管理運営を実現します。

配置図

